

## パブリック・コメント・レターの概要

### < 本文 >

- ・ 国際会計基準審議会 (IASB) の活動や国際会計基準 (IFRS) が投資家及び (財務諸表の) 作成者を含む市場参加者からより幅広い支持を得ることは、コンバージェンスに不可欠な要素。
- ・ 我々は、定款見直しが非常に重要と考えており、見直しを通じて IASB の基準設定活動やプロセスの信頼性が増すことを希望。
- ・ 高品質の世界的な基準を開発するためには、IASB が関係者から提起された幅広い視点を十分に考慮することが重要。
- ・ (定款見直しの) 最も重要な目的は、IASB が関係者の意見をよく聴き適切に考慮することをしていないとの懸念を払拭することであり、これは IASB の理事の構成と基準設定活動のデュープロセスを見直すことで効率的に達成されると信じる。

### < 各論 >

#### (IASB の理事の構成について)

- ・ 理事の文化的及び職業的な多様性は、市場参加者から受け容れられる高品質の世界的な基準を作成するためには不可欠。
- ・ 理事は、主要な資本市場で使用されている会計基準の実務的及び技術的な側面が十分考慮されるような構成とすべき。
- ・ 理事の選定にあたっては、外部とのコミュニケーション能力に重点を置くべき。専門的能力に加えて、関係者の懸念をよく聴き適切に考慮する能力は理事に不可欠。
- ・ 理事の職業的バランスを確保するためには、特に (財務諸表の) 利用者、作成者としての十分経験を持つ市場参加者のプレゼンスを高める必要。
- ・ 理事会は、世界の基準設定主体からのさまざまな代替的なアプローチや基準設定の経験を考慮できるように、すべてのリエゾン国とより緊密に連携することが重要。

#### (基準設定活動のデュープロセスについて)

- ・ 理事会は、関係者の懸念を聴く十分な機会を設け、基準設定のプロセスの中でその懸念をよく考慮し、その懸念に対する理事会の対応を明確に説明することが重要。

- ・ 主要な資本市場の関係者や専門家からの貴重なインプットを効率的に得るため公聴会、アドバイザリー・グループ、フィールド・テストを特別の理由がない限り実施する規定を定款に盛り込むべき。
- ・ 関係者の意見を効率的に検討し反映させるため、基準設定活動のより早い時期から関係者のインプットを求めるべき。
- ・ 基準勧告委員会(SAC)がより効率的に IASB への助言という目的を達成するため、小委員会の設置による効率的な議論、IASB 議長と SAC 議長の兼職の禁止等を提案。
- ・ 長期にわたって進捗のないプロジェクトを見直すサンセット・レビューは、現在一部の理事により実施されているが、より透明性の高い方法で実施すべき。
- ・ 理事会のデュープロセスの監視を強化する必要があり、評議会は IASB の基準設定活動の継続的監視を導入する方法を検討すべき。

(以上)